

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	須賀川市 7207
地域名 (地域内農業集落名)	塩田 地区 (塩田 地区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	284.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	211.3 ha
② 田の面積	125.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	159.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・塩田地区は、中山間地域もあり、基盤整備未実施の農地が多く、条件が不利な農地で耕作放棄地が増加している。 ・地域の中心的な農業者の高齢化が進んでおり、農業経営を引き継ぐ後継者がいないため、早急に新しい担い手を見つける必要がある。 ・水稲とキュウリ・果樹などの複合経営の農家が多く、農機具等の維持管理や機械更新にコストがかかり、経営を圧迫している。 ・物価高騰によるコストの増加、収入が不安定などの理由により、農家をやりたい、継ぎたいと考える若手が少ない。 ・塩田農地環境保全会を組織し、多面的機能支払交付金を活用した農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等を共同作業で実施している。 ・中山間地域等直接支払交付金を活用した農地等の維持管理を共同作業で実施している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・担い手、労働力を確保していくため、個人経営ではなく、集落営農や、法人化等、組織化を目指す。 ・地域の条件に合う、優良品種や高収益作物の導入を地域として検討していく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現状、各農業者の経営規模を維持しながら農地を管理していく。 農地を効率的に利用するため、地域の中心的な担い手に農地集積を行える体制を整える。 また、優良な農地等の耕作放棄を抑制するため、離農者が出た際の受け皿となる農業者を決める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	7.6	%	将来の目標とする集積率 7.6 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農用地を集団化させ、担い手の作業効率を向上させる。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
農地中間管理機構を利用し、認定農業者、新規就農者、農業生産法人等の中心的な担い手に農地を集約していく。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
地域の中で話し合い、農地中間管理機構を活用し、集積・集約に向けてマッチングを行う。農業者に情報が入ってきやすいようなシステムを構築する。	
(3)基盤整備事業への取組	
基盤整備未実施の圃場について、農用地の大区画化等の取組みを検討していき、地域の中心的な担い手が集団化し、耕作しやすい農地を確保する。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
地域内外から、様々な経営体を集め、地域の担い手として育成していくため、市及びJAと連携し、新規参入しやすい環境づくりをする。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
作業の効率化が期待できる作業はJA等に委託する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策・・・今後、イノシシやその他の野生生物による被害を予防・防止するための体制を整え、被害が出た場合に対策を実施する。
- ②有機・減農薬・減肥料・・・農作物の付加価値を高め、農業所得の確保につなげる取組を検討する。
- ③スマート農業・・・担い手の減少・高齢化が見込まれる中、省力技術・労働負担軽減技術として導入を検討する。
- ④畑地化・輸出・・・販路拡大策の一つとして検討する。
- ⑤果樹等・・・販売単価の高い果樹や野菜などの園芸品目の導入・拡大・改植を推進する。既存の品目については生産安定につながる施設化や施設導入を検討する。
- ⑥燃料・資源作物等・・・遊休農地や需給調整に取り組む水田に燃料・資源作物等の導入を検討・推進する。
- ⑦保全・管理等・・・作物作付が困難なほ場においては、遊休化や荒廃の防止のため、永年性作物の作付けを検討する。
- ⑧中山間地域等直接支払交付金を活用して、法面等の農地維持や地域資源の保全管理を地域共同で実施する。また、多面的機能支払交付金も活用し、農地維持や地域資源の保全管理を地域共同で実施する。
- ⑨農業用施設・・・担い手の営農や利用状況などを考慮し、農業用施設・共同利用施設の計画的な更新や集約化を進める。
- ⑩耕畜連携・・・飼料作物を生産し、家畜排せつ由来のたい肥を利用することで資源循環を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		21.6 ha	2.7 ha		21.6 ha	2.7 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	夢みなみ農業協同組合	土壌分析、水稲育苗、種子消毒(温湯消毒)、ドローン防除、乾燥、調製、ラッピング、選別、選果、開薬等	水稲、野菜、果樹、花卉、WCS等
2	(株)ドリームファームすかがわ岩瀬	水稲作業全般	水稲
3	(公財)須賀川市農業公社	大豆・ナタネ・そば作付全般	大豆、ナタネ、そば等

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

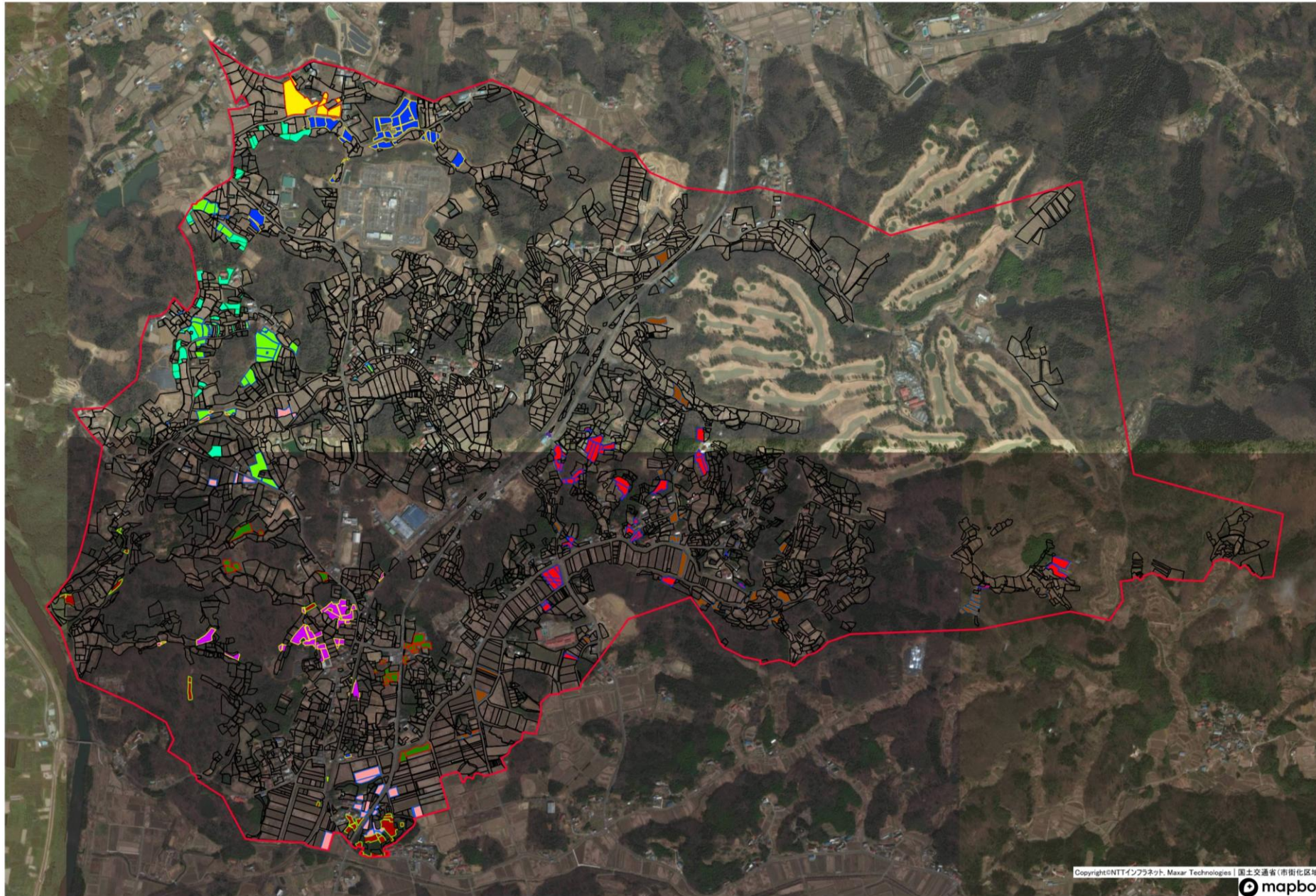
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者 1	水稻	3.1 ha	0.0 ha	水稻	3.1 ha	0.0 ha	1	
2	利用者 2	水稻・野菜	1.4 ha	0.5 ha	水稻・野菜	1.4 ha	0.5 ha	2	
3	利用者 3	水稻・野菜・花卉	3.1 ha	0.0 ha	水稻・野菜・花卉	3.1 ha	0.0 ha	3	
4	利用者 4	水稻・野菜	2.2 ha	0.2 ha	水稻・野菜	2.2 ha	0.2 ha	4	
5	利用者 5	水稻・野菜	2.9 ha	2.0 ha	水稻・野菜	2.9 ha	2.0 ha	5	
6	利用者 6	野菜・果樹	2.0 ha	0.0 ha	野菜・果樹	2.0 ha	0.0 ha	6	
7	利用者 7	水稻・野菜	1.3 ha	0.0 ha	水稻・野菜	1.3 ha	0.0 ha	7	
8	利用者 8	水稻・野菜	1.7 ha	0.0 ha	水稻・野菜	1.7 ha	0.0 ha	8	
9	利用者 9	水稻・野菜	2.3 ha	0.0 ha	水稻・野菜	2.3 ha	0.0 ha	9	
10	利用者 10	水稻	1.5 ha	0.0 ha	水稻	1.5 ha	0.0 ha	10	

塩田地区 目標地図



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10